


第29号

あか牛 オーナー通信



(公財)阿蘇グリーンストック 2011年12月発行



 比企様のオーナー牛「でんおう」の子



★ 寒冷の候、オーナーのみなさまにおかれましては
ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。



オーナー代表 あいさつ



本年も残り僅かとなりましたが、皆様お変わりありませんか。

今年は、3月11日に発生した東日本での地震、津波、そして原子力発電所での事故により日が大きく揺れ動いた1年でした。

この関連ユースがない日はなかった程で、私たちの生活に間接的直接的に大きな影響を及ぼされました。牛舎で餓死した姿を見て唖然とし、避難時に生きてほしいと牛舎を解放した牛たちが餌を求め町をさまよっている姿、又、餌を与えるため定期的に自宅に帰られる人たちの姿を見ると畜産を営まれている方々の牛に対する愛着がひしひしと感じられました。

こんな状況が熊本、阿蘇で起こったとしたら、この美しい雄大な草原は牛とともになくなるのではないかと思うと身震いするほどゾッとします。本当に原発事故の恐ろしさを知りました。そしていまだに収拾の見通しも立っていないのですから。被災された方々にお悔やみとお見舞いを心から申し上げます。

このあか牛オーナー制度が始まり早8年を過ぎようかとしています。これまで多くの方にオーナーになって頂きました。阿蘇の草原を維持するためには放牧牛を増やすことが一番の方法かと思っていますが、やはりここにも少子高齢化の波が押し寄せ畜産を営まれる農家は激減しつつあります。いまや有畜農家は900戸を切り、放牧牛については6500頭足らずになったとのこと。オーナーさんが増えても「受入れてもらえる農家がない」状況にもなりかねません。早い時期でのあか牛肉の消費拡大と畜産業の振興を図ることが課題かと思えます。

最近の熊日の新聞上に「あか牛新時代」と言う記事が掲載されていました。興味ある内容でありあか牛を増やすための大きな取り組みに心強く思っています。あか牛肉をブランド化し消費を拡大するということですが、そうすると黒牛和牛に対抗できるような価格になり自然とあか牛が増えてくる。そうするとこの阿蘇の草原の放牧牛は全てあか牛になるかもしれません。そんな日が早く来てほしいものです。

前回のオーナー会議において、某企業から「団体での加入はできるか。」との打診があり議題として話し合った結果、今までの個人の会員（複数人含む）の他に、団体での加入制度を設けることになりつつあります。受入れ農家の状況にもよりますが、来年度には数十頭単位でのオーナー牛の増加が見込まれるかもしれません。これからも財団のさらなる努力に期待したいと思えます。

今年一年本当にお世話になりました。

来年も皆様方にとって最良の年でありますようご祈念いたしますとともに、良いお年をお迎えください。

オーナー代表 舩尾義登

現在のオーナー牛

下記お知らせの新規分は含めておりません。

1 オーナー数及びオーナー牛頭数

41名の登録で、42頭となりました。 2011年度は6名の6頭です。

2 受け入れ農家数及び頭数

小堀	1戸×2頭	木落	1戸×6頭	狩尾	7戸×14頭
北坂梨	5戸×7頭	波野	7戸×13頭		

(農家数合計 21戸 ・ オーナー牛頭数合計 42頭)

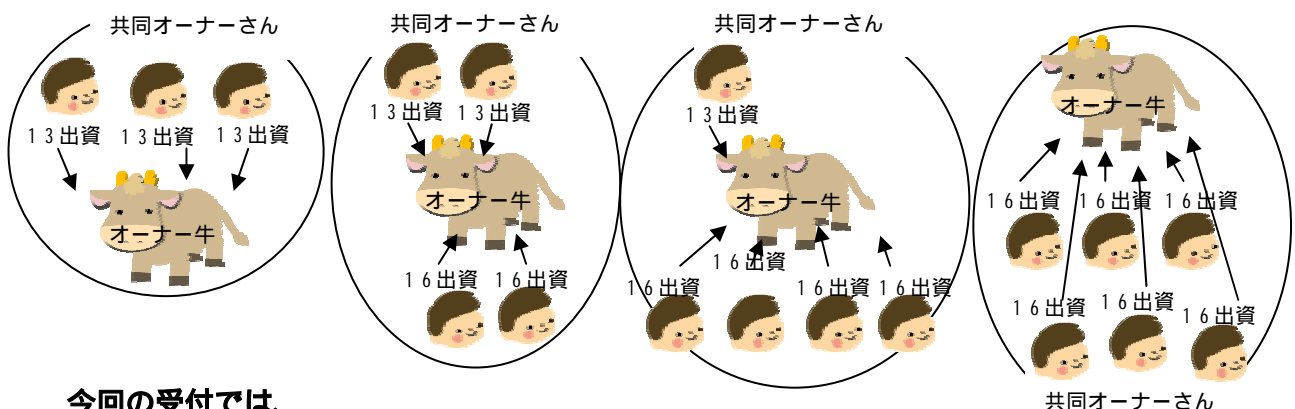
**** オーナーの受入れを希望される農家の方は事務局まで連絡をお願い致します。**

阿蘇草原再生募金の助成申請をして導入した牛を“あか牛オーナーの牛”とすることも可能です。この機会に御検討ください！

お知らせ：肥後銀行の加入と受入れ地域の拡大についてご報告です

今年12月より肥後銀行内で役・職員さんにあか牛オーナー希望者が募られ、当制度に参加頂くこととなりました。現在のところ新規42頭となっておりますが、今後も引き続き希望者を募られる予定です。

また、今回の肥後銀行加入については1頭につき3名~6名の共同オーナーでの参加もいただきました。(以下の図のような参加方法です。)



今回の受付では、

単独オーナーさん(6名) + 共同オーナーさん(190名) = 196名

となりました。

また、それに伴い、**新しい受け入れ農家さん**が参加されます。参加予定の農家さんの牧野は、**町古閑牧野と赤水牧野、南阿蘇の牧野**になります。

木落牧場



左からオーナー牛、末松様の「ゲッター2」、宇野様の「美羽」、小池様の「なつみ」



長野様のオーナー牛「光」

木落では管理人の佐藤さんの御協力で、広い牧野の中からオーナー牛を探し出し、近くまで連れてきて頂きました。どのオーナー牛も人が近くに寄ってもあまり気にしていない様子でした。あか牛は、他の種に比べてとても穏やかだと言われます。草原での放牧ではたくさんの牛や馬と一緒に過ごすため、気性が温厚であることはとても大切だそうです。現在の木落牧野では園田さんが6頭のオーナー牛の受入れをされています。

狩尾の牧野



草尾さんの元に走ってくる牛たち

草尾さん飼養オーナー牛

一番右：受入農家の草尾さん、オーナー牛・一番右：
小濱様の「なな」、左から2番目：富田様の「富田和ちゃん」
高橋様のオーナー牛「はらっぱー」

比企様のオーナー牛「でんおう」



今回、オーナー牛を4頭飼養してくださっている草尾さんのお宅にお邪魔してきました。草尾さんと飼料を持って写真を撮りに放牧地を尋ねると、草尾さんの顔を見た牛たちが続々こちらへ集まってきました。放牧地から離れる時もずっと後を追いかけてくるあか牛の姿にほのぼのとさせていただきました。また、右上の草尾さん宅近くの草地の写真では、草尾さんのもとに駆けてくる牛たちの速さに驚かされました。草原でのんびりと草を食む牛の姿はよく見かけますが、走っている姿にはなかなかお目にかかれないうように思います。畜舎では「はらっぱー」や「でんおう」の子たちが元気に育っていました。

・・・ コラム ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

日本の肉用牛と「あか牛」

最近、あか牛(あか毛和牛)の評価基準が新たに設けられました。近年の“霜降り嗜好”に寄った評価基準によって脂肪が多い黒毛和牛の価値が高まり、結果、あか牛の飼育頭数が減少しているためです。赤身の多いあか牛の肉質が独自評価され、価値が高まることが期待されます。

< 日本の牛肉の分類 >

和牛 : あか毛和牛、黒毛和牛、日本短角種、無角和種、とこれらの交配種

国産牛 : 乳用種、F1 (乳用種と肉用種の交雑種) 日本で3カ月以上肥育された外国産の牛

輸入牛 : 上記以外の外国産の牛 (外国で食肉用に加工してから輸入されたもの)

< 和牛の種類 >

あか毛和牛 : 「熊本系」明治の日本の在来種 (朝鮮牛が土着化したもの) に外国種の牛を交配・品種改良を重ねた褐毛の牛 当オーナー制度で応援している牛

「高知系」明治に輸入された朝鮮牛と外国種の牛を交配・改良を重ねた褐色の牛

黒毛和牛 : 明治の日本の在来種に外国種の牛を交配・品種改良を重ねた黒毛の牛

...脂肪交雑量 (さしの割合) は世界最高レベル

日本短角種 : 南部牛と外国種の交配で誕生した褐毛の牛 (東北、北海道に多い)

無角和種 : 大正の黒毛和牛に外国種を交配・改良を重ねた、無角・黒毛の牛 (山口県に多い)

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・



佐野様のオーナー牛「LINEN」



岩本様のオーナー牛「りく」



松田様のオーナー牛「竹」

狩尾牧場で放牧・飼養中のオーナー牛たちです。「りく」は山本さん、「LINEN」と「竹」は狩尾牧場が飼養されています。狩尾牧場では周年放牧が実施されています。次号の通信では、雪の中の放牧の姿もお見せできるかもしれません。あか牛は体がとても丈夫で寒さにも強く、寒くなると冬仕様のふかふかとした体毛になります。放牧されたあか牛は病気に負けない強さを持ち、健康でストレスもなく育っていくと言われます。

狩尾牧場、昨年の冬の様子



波野地区の牧場



受入農家の古澤安則さん、塚本様のオーナー牛
「美明」とその子ども



松尾様のオーナー牛



杉本様のオーナー牛「みゆう」



西田様のオーナー牛「西」

波野地区では7軒の農家さんが受入れをしてくださっています。今回取材させていただいたオーナー牛は、写真左上の「美明」は古澤安則さん、松尾様のオーナー牛は山口さん、「みゆう」と「西」は古澤清行さんが飼養されています。波野地区は阿蘇五岳のうち最東“根子岳”の東側にあたり、高森町、産山村と竹田市に接しています。また、標高600m～800m程の高地が多く、九州で最も高地の駅「波野駅」(754m)があり、神楽で有名です。牛に会いに行かれる際には波野駅や神楽殿なども見に行かれてはどうでしょうか。

+++++

★担当者後記

遅い紅葉も終わり、冬に向かって進んでいく頃になりました。私の地元の山口県は阿蘇よりも北に位置していますが、住んでいた瀬戸内側はあまり雪も降りませんでした。初めての阿蘇の冬が楽しみでもあり、どれほど寒いか不安でもあります。また今回、あか牛も衣替えをすることにとっても興味がわいています。寒くない地域で飼われている牛も衣替えをするのでしょうか。地元に戻る機会でもあれば、瀬戸内の温暖な気候で育っている無角和牛の様子を確認できたらと思います。

年末の忙しくも楽しい時期ですが、病気やけがなどに気をつけられ、良い年を迎えられください。皆様にとって素晴らしい新年となりますよう、お祈り申し上げます。

事務局の年末年始の休みについて

平成 23 年 12 月 29 日（木）

～ 平成 24 年 1 月 3 日（火）

上記の期間は事務局〔（公財）阿蘇グリーンストック〕は休みとなります。

年末は 12 月 28 日（水）まで、年始は 1 月 4 日（水）から開いております。

<前号の訂正・お詫び>

前 28 号の 2P、波野の牧野の最初の写真ですが、説明文が間違っていました。「坂梨さんと「ルデー」と山口さんご夫婦」は正しくは「坂梨さんご友人、「ルデー」と山口さん」です。間違いを教えて頂いた後から発行したものは訂正してありますが、それ以前のもものが届いている方もいらっしゃると思います。お詫びして訂正させていただきます。大変申し訳ありませんでした。

通信では限りがある分、インターネット上ではオーナー牛の様子をより詳しく伝えたいと思っております。たとえば、グリーンストック HP に掲載している通信はカラーです！また、今後各オーナー牛の写真を掲載するコーナーを設けていく予定です。

そのため、オーナー牛の写真を撮られた際に事務局までメール(下記のアドレス)で写真を送って頂けると助かります。牛たちのくつろいでいる様子の撮影は、受入れ家庭の皆様が一番です！

メールに写真を添付して頂き、メール本文には「送り主(受入れ家庭の方)の名前」、「オーナーさんの名前」、「牛の名号」、「撮影日」をわかる範囲で記して頂ければ助かります。

メールアドレス green-ma@aso.ne.jp

《会費入金お願い》

会則で決められている通信費等の今年度分の年会費 2000 円(農家の方は 1000 円)の入金をお願いします。

一部未納の方がいらっしゃいますので、まだお済でない方は入金をお願いいたします。

あか牛オーナー制度に関してご意見・ご要望がありましたら電話、FAX、郵便でも結構ですので財団までお知らせ下さい。検討の上、可能な範囲で対応させていただきます。本制度をよりよくしていくためにもよろしく願い致します。

担当：阿蘇グリーンストック 赤崎恵

謝辞

オーナーの皆様、受入れ農家の皆様、オーナー通信に関わってくださった皆様に末筆ながらお礼申し上げます。

+++++

編集・発行

公益財団法人 阿蘇グリーンストック

〒869-2237 熊本県阿蘇市石 1537-1

TEL: 0967-35-1110 (代)

FAX: 0967-35-1151

E-mail: green-ma@aso.ne.jp

HP : <http://www.aso.ne.jp/~green-s/>